



PEACE BOAT

3-13-1-B1, Takadanobaba, Shinjuku, Tokyo 169-0075, JAPAN
TEL:03-3362-6307 FAX:03-3362-6309
<http://www.peaceboat.org> info@peaceboat.gr.jp

記者リリース

日韓関係「冬の時代」の今、 日韓両国市民1,000名が友好の船旅に参加 ピースボート日韓クルーズ PEACE&GREEN BOAT 2013

日時：2013年10月18日（金）12:30～

場所：博多港国際ターミナル(福岡県福岡市博多区沖浜町14-1) TEL：092-282-4871

<http://www.hakataport.com/access.html>

【お問い合わせ】 ピースボート事務局 野平晋作
TEL：03-3363-7561 / 携帯：090-6015-6820 / Email：nohira@peaceboat.gr.jp

<記者会見参加予定者>

アン・ライト（元米国陸軍大佐・国務省上級外交官）
李泳采（恵泉女学園大学准教授）
鎌田慧（ルポライター）
金朋央（コリアNGOセンター）
戸塚悦朗（元龍谷大学法科大学院教授/国際人権法）
畑江奈つ希（Bridge for Peace）
前田哲男（ジャーナリスト）
吉岡達也（ピースボート共同代表）

「平和で持続可能なアジアの未来」をめざして、ピースボートと韓国の『環境財団』が共同でコーディネーターする船旅。2005年8月以来、日本と韓国からそれぞれほぼ同数の参加者がひとつの船で東アジア各地をめぐる、平和と環境のためのクルーズを過去5回にわたり行ってきました。6回目にあたる今クルーズは、歴史認識問題などをめぐり日韓関係「冬の時代」の今、日韓双方から計1,000名が乗船します。洋上で、寄港地で、領土問題、歴史認識問題、改憲問題、原発問題などホットな争点を取り上げ、対話を積み重ね、相互理解を深めます。

日程	寄港地	入港	出港
10月18日（金）	博多（福岡）	夜	
10月19日（土）	釜山（韓国）	朝	夜
10月20日（日）	洋上		
10月21日（月）	基隆（台湾）	昼	深夜
10月22日（火）	洋上		
10月23日（水）	那覇（沖縄）	早朝	夜
10月24日（木）	洋上		
10月25日（金）	上海（中国）	早朝	夜
10月26日（土）	洋上		
10月27日（日）	博多（福岡）	午前	

<使用客船>

オーシャンドリーム号 (35,265ト、パナマ船籍)

<水先案内人/乗船ゲスト>

アン・ライト (元米国陸軍大佐・国務省上級外交官) / 李泳采 (恵泉女学園大学准教授)
池田香代子 (翻訳家) / 上原公子 (元国立市長)
大森和良 (泊の歴史を知る会事務局) / 鎌田慧 (ルポライター)
金朋央 (コリアNGOセンター) / 古今亭菊千代 (落語家)
高里鈴代 (基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表) / 畑江奈つ希 (Bridge for Peace)
戸塚悦朗 (元龍谷大学法科大学院教授/国際人権法)
松田美緒 (旅する歌手) / 前田哲男 (ジャーナリスト)
森達也 (作家・映画監督) / 李容洙 (日本軍「慰安婦」被害者)
徐斯儉 (台湾ピースタイム財団) / 陳春声 (台湾・蘇澳漁業者協会代表)
キム・ジョンウク (ソウル大学校名誉教授)
ソ・ムンタク (歌手) / イ・ハン Chol (歌手)
ソ・ヘソン (小説家) / オ・ドンジン (映画評論家)
ヒョジュ (韓服アーティスト) / バブルドラゴン (バブルアーティスト)
チェ・ジェヨン (写真家) / コ・ヒョンスク (コーチング経営院代表)
チェ・コウン (ミュージシャン) / キム・ソヨン (詩人)
シン・チヒ (ON it (株) 代表) / ユ・ソンヨン (旅行作家)
イ・チャンヒョン (ソウル研究院院長) / チョ・ユミ (レオバーネット (Leo Burnet Korea) 代表)
キム・ハンジョン (延世大学 金大中図書館 客員教授) / クァク・ジュニョン (マジシャン)
イ・ソンジョン (環境財団代表、円仏教天地報恩会代表)

※各寄港地予定している交流プログラム

<釜山 (韓国) >

- 釜山民主公園で考える韓国民主化運動
- 古里原発を通して考える韓国原子力事情
- 皆が仲良く暮せる社会、多文化共生をめざして
- 自然の宝庫・洛東江と開発問題

<基隆 (台湾) >

- 海から考える尖閣問題
- 台湾の有機農場訪問
- No Nuke Taiwan! 原発のないアジアを目指して
- 台湾の海から考える尖閣諸島問題解決への道
- ハンセン病隔離施設『楽生院』を訪ねて
- “買春”って何? 子どもを取り巻く現実を学ぶ

<那覇 (沖縄) >

- 普天間基地から見える日本『本土』の姿
- 市民がとめる辺野古の米軍基地建設
- 沖縄のいまむかしを読谷村 (よみたんそん) で知る
- 宮森小学校・米軍ジェット機墜落事故を忘れない
- 「捨て石」作戦としての沖縄戦 南部戦跡めぐり

<上海 (中国) >

- エコ・ビレッジで有機農業体験
- 韓国独立運動の軌跡をたどる
- 史実を知り、未来を考える ～検証・南京大虐殺～
- 上海の若者と交流

<博多 (福岡) >

- 九州から見えてくる未来の平和
- 炭鉱節の街、田川にて知る悲しい歴史
- 地元と隣国の皆さんと考える脱原発と未来のエネルギー
- ナガサキで日韓平和交流
- 見て、ふれて、楽しみながら学ぶ北九州のエコ